

TOPIC

令和6年度ダイバーシティ推進講演会を開催



お互いを決めつけず 尊重し合う

幾多の困難を乗り越えた経験談と統計に裏付けられた男女平等論による、ダイバーシティ意識啓発の良い機会に

令和6年10月15日(火)に全員参加型FD講習会として「令和6年度ダイバーシティ推進講演会」を、飯館村前村長菅野典雄先生と、國學院大學経済学部経済学科教授水無田气流先生のお二方を講師としてお迎えしハイブリッド方式により開催しました。

『気づきの目やこころ』という題のもと、菅野先生より、被災した飯館村の復興に向けた取り組みについてお話いただきました。

菅野先生は、「被害者・加害者という意識は持たない」というお考えのもと、復興のた

めにどのように考えられ、また、どのように行動されたのかを詳しくご説明していただきました。

続いて、『多様な社会はなぜ難しいか日本の「ダイバーシティ進化論』』というテーマのもと、水無田先生より、さまざまな背景を持つ人々が互いに尊重し合うことの重要性についてお話いただきました。

多岐にわたるデータを基に、日本におけるジェンダーギャップの大きさと影響について指摘されジェンダー平等への理解が深

まることとなりました。

講演後のアンケートでは、「ダイバーシティを語るにふさわしい多彩な人生を歩んでこられた先生の貴重なお話をいただいた」、「様々な統計の裏付けのもと展開される男女平等論まで、多くの新たな知見を得られた」という意見が多数寄せられ、本学における意識啓発の良い機会となりました。

詳しくは、
ダイバーシティ推進室 ▶▶▶
HPをご覧ください



TOPIC

ハーバードT.H.Chan公衆衛生大学院と協力するためMOU(覚書)を締結

令和6年9月24日(火)、本学は、東京電力福島第一原子力発電所事故後の対応、残された課題、復興に向けた活動に関する分析・評価・研究を促進することを目的に、ハーバードT.H.Chan公衆衛生大学院と協力するためMOU(覚書)を締結しました。

令和6年1月に本学の後藤あや特任教授がハーバードT.H.Chan公衆衛生大学院に主任教授として着任したことを契機に、今回のMOU(覚書)締結に至りました。

ハーバードT.H.Chan公衆衛生大学院は生活習慣病など多くの分野で先駆的な研究

を行っており、協力関係を構築することは、本県の復興を医療の面から支える本学にとって大変有意義なものです。

MOU(覚書)締結後の具体的な協力事業として、来年1月には、コミュニティヘルス(地域保健)の観点から原発事故後の対応や復興に向けた活動等について学ぶため、ハーバードT.H.Chan公衆衛生大学院の学生が県内関係各所を訪問・見学するフィールド活動が予定されています。

今回のMOU締結を契機とし、本県の復興になお一層、寄与してまいります。

竹之下誠一 理事長兼学長コメント

「今回のMOU締結を機に、本県の実情を理解する公衆衛生の専門家が一人でも多く育成され、世界で広く活躍されることを期待します。」

ハーバードT.H.Chan 公衆衛生大学院・後藤あや 主任教授コメント

「福島県立医科大学とMOUが締結できて大変嬉しく思います。これを土台に学術交流を展開して、地域に根差した震災関連の研究が促進されることを期待します。」



看護功労者知事表彰及び優良看護(永年)職員表彰

REPORT



令和6年10月26日(土)、福島県看護会館みらい(郡山市)において、福島県看護協会の令和6年度看護功労者表彰式が開催されました。

長年にわたる保健医療分野への貢献が認められ、当院の職員が表彰されました。

受賞者の皆さん、おめでとうございます。今後ますますご活躍されますよう祈念しております。

看護功労者知事表彰

本学附属病院 会津医療センター附属病院
・武田治美 看護部副部長
・山田香代子 副院長兼看護部長

優良看護(永年)職員表彰

本学附属病院 会津医療センター
・小林美恵子 看護師長
・大井川百合 看護部副部長
・柳沼靖子 看護師長
・都倉美津子 主任看護技師

International Exchange

IAEAアジア太平洋地域協力プロジェクト(RAS6110)運営会議開催

放射線治療に関する国際的な協力体制について話し合うIAEAアジア太平洋地域協力プロジェクト(RAS6110)運営会議が2024年10月15日(火)~18日(金)に本学福島駅前キャンパスなどで開催されました。

会議にはオンラインも含めアジア18か国の主に放射線治療の専門家とIAEAの担当者が参加し、放射線腫瘍学講座鈴木義行主任教授

がコーディネーターを務めました。

各国の放射線治療の提供体制が共有された後、2024/2025年に予定されているプロジェクトの活動内容(トレーニングコースのカリキュラムや新規参加国への個別支援である専門家派遣等)が議論され承認されました。

また、最終日には会津中央病院(会津若松市)でのがん治療施設の見学も行いました。

このプロジェクトは国際原子力機関(IAEA)に加盟する日本などアジア太平洋地域の15か国が支援国として、放射線治療の体制構築・整備を目指すもので、2027年12月まで続きます。



NEWS 令和6年度福島県立医科大学白衣式を挙行了しました

令和6年10月17日(木)、本学講堂において「白衣式」が挙行され、竹石恭知附属病院長より医学部4年生120名一人ひとりへ大学の校章と氏名が刺繍された白衣が授与されました。

「白衣式」は、医師を目指す者としての心構えを新たに、自覚を持って臨床実習に臨んで

もらうことを目的に行われます。

学生たちは、10月21日(月)から、72週間にわたり附属病院等で実際に患者さんに接しながら医学を学ぶ臨床実習(BSL)をスタートさせました。

真新しい白衣に刻まれた自身の名前を見つ



める真剣な表情に、臨床実習生としての成長への期待が高まります。

NEWS 第75回福島県立医科大学解剖慰霊祭を挙行了しました

令和6年10月30日(水)、本学講堂において「第75回福島県立医科大学解剖慰霊祭」を挙行了しました。

医学教育、学術研究の進展のため、本学では系統解剖(学生の教育のため、人体の正常な形態と構造を解明するもの)、病理解剖、法

医解剖を行っています。その尊い御遺体を捧げた故人の徳を偲び、御霊の冥福を祈るため、御遺族、来賓を招き、教職員、学生の出席のもとに、毎年秋に解剖慰霊祭を執り行っています。

本年度も御遺族、御来賓の皆様とともに、教職員、学生一同、お供えをいたしました御霊



296柱に謹んで哀悼の意を表し、御霊のご冥福をお祈りいたしました。

INFORMATION

共催 第37回 会津若松市健康まつり 会場:会津若松市文化センター

本学健康増進センターでは、福島県及び会津若松市との共催により「いきいき健康づくりフォーラム in 会津若松」を開催します。ぜひご来場ください。

いきいき健康づくりフォーラム in 会津若松

●第1会場 会津風雅堂
●第2会場 会津若松市文化センター

11月10日(日) 入場無料
時間 10:00~15:00

HPをチェック!!

●トップ健康トーク

竹之下誠一理事長兼学長、佐藤宏隆福島県副知事、室井照平会津若松市長が出演し、福島県の健康課題改善に向けた取組等についてお話しします。

●本学教員による健康連続講座

本学教員が講師を務め、4つのテーマ別健康講座を開催。

●健康応援展示ブース

健康づくりに取り組む団体や企業が役立つ情報を提供します。

詳しくは健康増進センターのHPをご覧ください

